



院長の1分レクチャー35

【急性胃腸炎】

原因としてロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルスなどが有名です。吐物や便からうつります。突然吐き始め、12-24時間続くことが多く、その後に下痢が始まります。熱が出ることもあります。大腸菌やサルモネラ菌などが原因のときは血便が特徴的です。

吐き気止めの座薬（ナウゼリン座薬）はそれほど効果が期待できません。下痢に対しては整腸剤（ミヤBMなど）を内服します。原則として、こどもには下痢止めを使いません。

家庭では吐き気が落ち着いてきたら経口補水液などを20-30分おきに1口ずつ飲ませてください。その後、おかゆやうどんなどから食事を再開しましょう。感染予防は1に手洗い、2に手洗いです。原因ウイルスの消毒で効果があるのは次亜塩素酸ナトリウム（ハイターなど）だけです。ぐったりして、おしっこが少ないときや、泣いても涙が出ないときは脱水になっています。もう一度受診してください。

治療しても嘔吐はなかなか止まらない。

24時間たっても吐く場合はもう一度受診しましょう。

※「院長の1分レクチャー」はホームページや公式LINEアカウントからも読むことができます。



おおつかこども
クリニック